

2022年2月吉日

関係者各位

学童支援ゆめの樹

園長 山内 香織

「放課後等デイサービス自己評価」(保護者等向け)

の結果について(報告)

余寒の候、皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、当事業所における「放課後等デイサービス自己評価表」(保護者等向け)について自己評価を過日実施いたしました。その結果について報告します。

適切な支援の提供内の⑥放課後児童クラブとの活動機会について、「どちらともいえない」との回答が多く、「コロナの影響もあり仕方ないですね」との意見がありました。今後感染状況を考慮しながら、地域との交流も検討したいと思います。

また、⑩非常時等の対応の項目について、「どちらともいえない」との回答が多数ありました。ゆめの樹では、法令で定められた訓練を定期的に行っておりますが、保護者会などの機会も利用して、広く呼びかけを行いたいと思います。

支援の満足度については、⑪子どもは通所を楽しみにしているか、の項目で「はい」の回答が多く、今年度から新しく登園されていた保護者から、「仲の良い友達ができて、自分を出し安心して過ごせる場所になっている」との意見を頂きました。また、⑫事業所の支援に満足しているかの項目でも、「継続的な活動のなかで本人が苦手感じていたことにも挑戦したり、自分なりに楽しめるようになっていく」との意見を頂きました。今後も、職員一同子どもさんの状況を把握し、安心して活動できる活動を創造していきたいと思っております。

これからも、引き続き様々な意見を聞く中でスタッフ、保護者、子どもたちと共に理解を深め一歩ずつ進めながら事業所づくりをしていきたいと考えておりますので、多くの方のご協力をよろしくお願いいたします。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:2022年2月25日

事業所名: 学童支援 ゆめの樹

保護者等数(児童数) 36

回収数 24

割合 66.6 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	21	1	2		
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	1			
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか	24				
	⑤ 活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか	24				
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	12	1	無回答1 コロナで仕方ないですね	
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	2			
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24				
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2			
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	3			
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	2			
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	2			
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	3			
⑭ 個人情報に十分注意しているか	24					
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	3			
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	5		無回答1 訓練しているかわからない	
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	21	3		学校がある日は行き渋りが時々ある。友達と一緒に帰りたい入所したばかりの頃は緊張している様子もありましたが、今では仲の良い友達もできて、自分を出して安心して過ごせる場所になっています	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
⑩	事業所の支援に満足しているか	22	2		継続的な活動のなかで、本人が元々苦手を感じていたことにも挑戦したり、自分なりに楽しめるようになってきています。	

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

2022年2月吉日

関係者各位

学童支援ゆめの樹
園長 山内 香織

「放課後等デイサービス自己評価」（事業者向け） の結果について（報告）

余寒の候、皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、当事業所における「放課後等デイサービス自己評価表」（事業者向け）について自己評価を過日実施いたしました。その結果について報告します。

環境・体制整備では、「3 事業所の設備等について」で、「老朽化が見られる」との意見がありました。施設の老朽化に対しては、法人本部とも協議中で、近日中に補助金などを利用して改修を計画中です。活動する中で、危険な箇所などあれば、その都度補修や改修などの申し出を行いたいと思います。

業務改善では、「6 自己評価の公表」で「知らなかった」という意見や、「7 第三者による外部評価」で「どちらともいえない」との意見がありました。事業所の運営について、必要な事項や実施していることなどを、事業所の全職員に周知していくことも課題だと思えます。今後、職員に周知するなかで運営の透明性を高めていきたいと思えます。

適切な支援の提供では、「1 6 支援終了後には～」の項目で、「どちらともいえない」の回答が多くありました。活動後には難しい場合には翌日には振り返りを行っていますが、今後も意識的に行っていこうと思えます。

関係機関との連携の項目では、「2 6 放課後児童クラブ（以下略）」「2 7 協議会等へ積極的に～」「2 9 保護者の対応力～」に対して、「どちらともいえない」との回答が多くありました。感染症の状況もあり、関係機関と幅広く交流することや、保護者会の開催も出来ないこともあり、事業所としても課題と感じています。ただ、必要に応じて、管理者や主任が関係機関などと連携を行い、保護者の相談に応じるなどの対応を行っています。

保護者への説明責任等については、「3 2 父母の会の～」で「どちらともいえない」という意見が多く、「3 7 事業所の行事に～」で「いいえ」の意見が多くありました。これについても、感染症の影響が大きく、大勢の人数を集めることが難しい状況がありました。ただ、リモートによる保護者会の学習会の開催など、この状況下でも可能なことは今後も検討したいと思えます。

今後も様々な意見を聞く中でスタッフ、保護者、子どもたちと共に理解を深め一歩ずつ進めながら事業所づくりをしていきたいと考えておりますので、これからも多くの方のご協力をよろしく願いいたします。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:2022年2月25日

事業所名: 学童支援ゆめの樹

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				建物の老朽化があり、その都度確認し、職員で補修をするなど対応している。大がかりな補修は今後業者などへ依頼を検討する予定。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			全ての職員が子どものことで気が付いた点などをその都度共有するようにしている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修会に参加した際に、職員会議などで報告し全体で共有するようにしている。	コロナの影響もあり、対面での研修が難しい状況であるので、今後はリモートなどを利用して研修計画を立てたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		活動後が難しい場合は、翌日の朝には振り返りが行えるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		子どもの状態像を職員間で把握し、職員間で検討し活動内容を計画している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の学校の体育館や校庭を活動で使用するなど、地域の資源を活動で活用している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			コロナの状況もあり、対面で集まったの保護者会開催が難しい。この状況でも、保護者会が行えるような開催方法を検討したい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	公園などの公共の場で活動を行うなど。	直接的ではないが、地域の公民館や施設などを利用する際に協力を頂いている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	○				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか		○			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	○				
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)